

分担研究年度終了報告書

研究代表者 山岸 拓也（国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 室長）
研究分担者 土橋 西紀（同 実地疫学研究センター 室長）
黒須 一見（同 薬剤耐性研究センター 主任研究員）

研究要旨

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行を受けて、利用者が宿泊を断られた又はCOVID-19感染者が申告無く宿泊したことにより営業に多大な影響が生じる事案が発生していた。そこで、旅館やホテル等の宿泊施設におけるCOVID-19への感染対策等の現状を把握することを目的として、旅館業事業者にアンケート調査を実施することにした。

全日本ホテル旅館協同組合（主に旅館が加盟、1,448施設）、日本ホテル協会（主にシティホテルが加盟、233施設）、全日本ホテル連盟（主にビジネスホテルが加盟、1,158施設）に加盟している宿泊施設を対象に、2022年11～12月に質問紙票調査を郵送で配布回収（全日本ホテル旅館協同組合、日本ホテル協会）、又はWebアンケートの形式（全日本ホテル連盟）で実施した。

質問紙は2,091部配布され（全日本ホテル旅館協同組合700部、日本ホテル協会233部、全日本ホテル連盟1,158部）、484部が回収された（回収割合23%、全日本ホテル旅館協同組合112部（同16%）、日本ホテル協会76部（同33%）、全日本ホテル連盟296部（同26%））。宿泊客のチェックイン時の健康観察は概ね95%以上の施設で実施されており、従業員への感染症対策についてもマスク着用、出勤時の健康観察、換気、密への注意等が約9割の施設で、店舗においても、換気、清掃への配慮が約9割の施設で実施されていた。感染症が疑われる、または感染症の客の利用を断った経験のある施設について、484施設のうち30施設で該当があり、このうちCOVID-19が原因という回答をした施設は8施設（27%）であった。

2020年のCOVID-19流行以降、ほとんど全ての宿泊施設が、宿泊客・従業員に対してCOVID-19の予防対策に努めていた。現在の旅館業法では旅館やホテルは原則として宿泊を拒否できないとされているが、明らかな感染症患者を除き、有症状の利用者については、宿泊を拒否するのではなく医療に繋げることで、感染拡大防止に寄与できる可能性があると考えられた。また、これら平時の対応に加え、今回のCOVID-19流行の様な、社会の有事に対しては、旅館やホテルの宿泊に対する別の仕組みを作ることも、議論の対象にすべきと考えられた。

A. 研究目的

現在の旅館業法(昭和 23 年法律第 138 号)においては、「営業者は、宿泊しようとする者が伝染性の疾病にかかっていると明らかに認められる場合を除いては、宿泊を拒んではならない。」と規定されている。

2020年の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以降の旅館業法における宿泊客への感染症の対応について全日本ホテル旅館協同組合、日本ホテル協会、全日本ホテル連盟の担当者にインタビューしたところ、対応に苦慮しているとの意見が聴かれた。このため、旅館やホテル等の宿泊施設におけるCOVID-19への感染対策等の現状を把握することを目的として、旅館業事業者にアンケート調査を実施することにした。

B. 研究方法

1. 研究デザイン

自記式質問紙票による郵送調査とWeb質問紙票による調査を2022年11～12月に実施した。調査項目は、宿泊施設の基本情報、COVID-19への感染対策状況とした。郵送調査を全日本ホテル旅館協同組合、日本ホテル協会、Web調査を全日本ホテル連盟に対して実

施した。なお、全日本ホテル旅館協同組合は主に旅館、日本ホテル協会は主にシティホテル、全日本ホテル連盟は主にビジネスホテルを含む団体である。質問項目は、店舗基本情報、客・従業員・店舗内の感染対策について、宿泊拒否や客とのトラブルの有無、COVID-19の集団感染の経験、マニュアルの有無とした（別添）。

2. 情報源、調査対象者

調査対象は2,839施設（内訳：全日本ホテル旅館協同組合1,448施設、日本ホテル協会233施設、全日本ホテル連盟1,158施設）とした。

3. 倫理面での配慮

本研究で実施した質問紙票調査に関しては個人情報が含まれず、国立感染症研究所倫理委員会にて倫理審査に該当せずと判断された。また、データ分析は国立感染症研究所内で行われ、倫理上の問題が発生する恐れはない。

C. 研究結果

質問紙票の配付数は2,091部（内訳：全日本ホテル旅館協同組合700部、日本ホテル協会233部、全日本ホテル連盟1,158部）であった。回収数（回収割合）は484部（23%）であり、その内訳は、全日本ホテル旅館協同組合112部（16%）、日本ホテル協会76部（33%）、全日本ホテル連盟296部（26%）であった。それぞれの団体からの回答を、観光庁の宿泊旅行統計調査（<https://www.mlit.go.jp/kankochou/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html>）で用いられている区分に従い、旅館、シティホテル、ビジネスホテル、として示す。

1) 旅館 (n=112) (表)

回答者の役職は経営者48名（43%）、執行役員23名（21%）、社員21名（19%）、店舗責任者18名（16%）、その他1名（1%）であった。店舗概要は、従業員数中央値（範囲）45人（3-300人）、チェーン店舗数なし86件、2～10店舗15件、11～49店舗4件、平均滞在日数1泊2日95件、2泊3日4件、3泊4日2件、大浴場あり102件（91%）、宴会場あり100件（89%）、施設内調理場あり109件（97%）であった。

利用客の健康観察状況の確認は、110件（98%）の施設が実施していた。内容は、入館時の検温、チェック用紙への記入、症状の聴取などであった。14件（13%）の施設で、客の感染症対応で困った経験があり、入館時の有熱や症状、宿泊後の発症、病院受診の拒否、宿泊時のCOVID-19感染、発疹などがあった。客利用を断った経験は4件（4%）、いずれもCOVID-19によるものではなく、またトラブルへの発展はなかった。

感染対策については、従業員において、マスク着用、出勤時の健康観察、換気、密への注意等が概ね9割の施設で実施されており、店舗においても、換気、清掃への配慮が概ね9割の施設で実施されていた。但し、従業員の手指衛生は87件（78%）にとどまり、清掃時に使われていた薬剤（重複回答あり）は、アルコール消毒薬93件（83%）、次亜塩素酸ナトリウム26件（23%）であり、46件（41%）では次亜塩素酸水も使用されていた。また、設置している手指用消毒薬はアルコール消毒薬101件（90%）、次亜塩素酸水17件（15%）であった。

また、COVID-19の集団感染の経験は、客間3件（無回答と不明を除く97件中、3%）、従業員間19件（同104件中、18%）、客-従業員間19件（同101件中、19%）であった。

感染症に関するマニュアル（無回答を除く）は88件（81%）の施設で準備されていた。COVID-19に対するものが87件（99%）あり、ノロウイルス（36件、41%）と食中毒（37件、42%）に対しても、各約4割があると回答していた。

2) シティホテル (n=76) (表)

回答者の役職は社員41名（54%）、店舗責任者15名（20%）、執行役員9名（12%）、経営者5名（7%）、その他4名（5%）であった。店舗概要は、従業員数中央値（範囲）1

50人（15-1,918人）、チェーン店舗数なし36件、2～10店舗18件、11～49店舗13件、50店舗以上4件、平均滞在日数1泊2日50件、2泊3日11件、3泊4日2件、大浴場あり22件（29%）、宴会場あり69件（91%）、施設内調理場あり74件（97%）であった。

利用客の健康観察状況の確認は、74件（97%）の施設が実施していた。内容は、入館時の検温、チェック用紙への記入、症状の聴取などであった。8件（11%）の施設で、客の感染症対応で困った経験があり、宿泊後の発症、入館時の有熱や症状、COVID-19陽性客使用後の清掃、COVID-19陽性者の移送、COVID-19感染での滞在希望、マスク着用拒否などがあった。客利用を断った経験は2件

（3%）、いずれもCOVID-19によるものではなかった。これら2件のうち、トラブルへの発展が1件（1%、詳細不明）であった。

感染対策については、従業員において、マスク着用、出勤時の健康観察、換気、密への注意等が9割の施設で実施されており、店舗においても、換気、清掃への配慮が9割の施設で実施されていた。但し、清掃時に使われていた薬剤（重複回答あり）は、アルコール消毒薬68件（89%）、次亜塩素酸ナトリウム15件（20%）であり、39件（51%）では次亜塩素酸水も使用されていた。また、設置している手指用消毒薬はアルコール消毒薬73件（96%）、次亜塩素酸水19件（25%）であった。

また、COVID-19の集団感染の経験は、客間4件（無回答と不明を除く54件中、7%）、従業員間18件（同67件中、27%）、客-従業員間17件（同61件中、28%）であった。

感染症に関するマニュアル（無回答を除く）は75件（99%）で準備されていた。このうちCOVID-19に対するものが73件（97%）あり、ノロウイルス（57件、76%）と食中毒（54件、72%）に対するものも各約7割があると回答していた。

3) ビジネスホテル (n=296) (表)

回答者の役職は経営者142名（48%）、社員80名（27%）、店舗責任者73名（25%）、その他1名（0.3%）であった。店舗概要は、チェーン店舗数なし190件、2～10店舗58件、11～49店舗24件、50店舗以上24件、平均滞在日数1泊2日230件、2泊3日51件、3泊4日7件、4泊5日以上8件、大浴場あり169件（57%）、宴会場あり168件（57%）、施設内調理場あり275件であった。

利用客の健康観察状況の確認は、284件（96%）の施設が実施していた。内容は、入館時の検温、チェック用紙への記入、症状の聴取などであった。71件（24%）の施設で、客の感染症対応で困った経験があり、入館時の有熱や症状、宿泊後の発症、有症時の受診・検査が困難、マスク着用拒否、COVID-19陽性客使用後の清掃、隔離部屋の確保・同室者の分離困難、COVID-19陽性者の移送、COVID-19を理由にキャンセル、COVID-19感染での滞在希望、濃厚接触者への対応、行政の連携などがあった。客利用を断った経験は24

件（8%）であり、うちCOVID-19が原因という回答が8件認められた（ビジネスホテルの宿泊拒否24件中33%、全体の宿泊拒否の30件中27%）。トラブルへの発展は5件（2%、詳細不明）であった。

感染対策については、従業員において、マスク着用、出勤時の健康観察、換気、密への注意等が9割の施設で実施されており、店舗においても、換気、清掃への配慮が概ね9割の施設で実施されていた。但し、清掃時に使われていた薬剤（重複回答あり）は、アルコール消毒薬261件（88%）、次亜塩素酸ナトリウム56件（19%）であり、104件（35%）では次亜塩素酸水も使用されていた。また、設置している手指用消毒薬はアルコール消毒薬285件（96%）、次亜塩素酸水58件（20%）であった。

また、COVID-19の集団感染の経験は、客間15件（無回答と不明を除く269件中、6%）、従業員間45件（同287件中、16%）、客-従業員間59件（同279件中、21%）であった。

感染症に関するマニュアル（無回答を除く）は239件（81%）で準備されていた。COVID-19に対するものが231件（97%）あり、ノロウイルス（118件、49%）と食中毒（118件、49%）に対しても、各約5割があると回答していた。

D. 考察

2022年11～12月に、旅館、シティホテル、ビジネスホテルを対象に質問紙票調査を実施した。全体回収数（回収割合）は484部（23%）であり、それぞれ、112部（16%）、76部（33%）、296部（26%）であった。

調査時点で、宿泊客のチェックイン時の健康観察は95%以上の施設で実施されており、従業員への感染症対策についてもマスク着用、出勤時の健康観察、換気、密への注意等が約9割の施設で、店舗においても、換気、清掃への配慮が約9割の施設で実施されていた。ただし、医薬品や医薬部外品でないため使用が推奨されていない手指衛生用の次亜塩素酸水の設置が15～25%の施設で行われており、より具体的な情報発信が必要と考えられた。

施設利用を断った経験はそれぞれの対象施設集団で3～8%（計30件（6%））の施設で認められ、特にビジネスホテルでの事例が多かった。断った理由として、COVID-19が原因という回答が8件（27%）と多かったが、その他の感染症の疑いや有症状の場合にも宿泊が拒まれていた。有症状の場合など、医療につなげることで館内での感染拡大防止につながる可能性があると考えられた。また、従業員や他の利用客への感染伝播防止としたものも4件（13%）で認められた。宿泊施設での対応が困難であった事例としては、チェックイン時の発熱症状等を有する事例、宿泊後にCOVID-19を発症する事例、有症時の受診・検査が困難な事例、マスク着用を拒否する事例、隔離部屋の確保・同室者の分離が困難な事例、COVID-19を理由にキャンセルする事例、COVID-19陽性者が滞在希望する

事例等があげられ、また対応として、COVID-19陽性客使用後の清掃への対応、濃厚接触者への対応、COVID-19陽性者の移送への対応、行政の連携での困難さがあげられた。行政との連携では、県外に住所地のある宿泊者や職員で特に難しくなっている様子が伺えた。更に、今後の外国人旅行者の増加に対して、COVID-19対応を続けていく困難さについての懸念があった。一方、特にビジネスホテルでは備考の意見として、早く感染予防対策を終了してほしい、業界として統一したルールや基準が欲しい等が記載されており、2023年5月7日以前のCOVID-19対策・対応で、現場へ過度の負担がかかっていたと考えられた。

施設での感染症関係マニュアルはCOVID-19については多くの施設が整備していたが、ノロウイルスや食中毒マニュアルはシティホテル7割、ビジネスホテル5割、旅館3割の整備状況であった。今後は業種別のガイドラインは使用されない方向になるが、感染対策に関しては、旅館業界として統一したガイドンがあるとう用であると考えられた。

本調査の制限として、回答者は、質問5（過去5年（2017年～2021年）の連絡/経験）から派生した質問6についても、過去5年の連絡/経験を前提に回答していると考えられるが、一部の回答者が、それ以前の状況について記載している可能性は否定できない（別添参照）。

E. 結論

本調査では、ほとんど全ての宿泊施設が宿泊客、従業員、店舗に対してCOVID-19の予防対策に努めていた。感染症が疑われる、または感染症の客の利用を断った経験のある施設について、484施設のうち30施設で該当があり、このうちCOVID-19が原因という回答をした施設は8施設（27%）あり、一部はトラブルに発展していた。現在の旅館業法では旅館やホテルは原則として宿泊を拒否できないとされているが、明らかな感染症患者を除いては、有症状の利用者を医療に繋げることで、感染拡大防止に寄与できる可能性がある。また、これら平時の対応に加え、今回のCOVID-19流行の様な、社会の有事に対しては、旅館やホテルの宿泊に対する別の仕組みを作ることも、議論の対象にすべきと考えられた。

F. 健康危険情報 該当なし

G. 研究発表 該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

表 旅館、シティホテル、ビジネスホテルの属性とその感染対策の現状

	旅館 (n=112)	シティホテル (n=76)	ビジネスホテル (n=296)
チェーン店舗数			
なし	86 (77)	36 (47)	190 (64)
2~10店舗	15 (13)	18 (24)	58 (20)
11~49店舗	4 (4)	13 (17)	24 (8)
50店舗以上	0 (0)	4 (5)	24 (8)
施設設備			
大浴場あり	102 (91)	22 (29)	169 (57)
宴会場あり	100 (89)	69 (91)	168 (57)
施設内調理場あり	109 (97)	74 (97)	275 (93)
客の感染対策について			
利用客の健康観察を実施している	110 (98)	74 (97)	284 (96)
客の感染症対応での困った経験あり	14 (13)	8 (11)	71 (24)
うち客利用を断った経験あり	4 (4)	2 (3)	24 (8)
うちトラブルまで発展した経験あり	0 (0)	1 (1)	5 (2)
従業員の感染対策について			
COVID-19の職域接種の実施あり	61 (54)	45 (59)	124 (42)
従業員の手指衛生 (客ごと/1時間ごと)	87 (78)	60 (79)	238 (80)
従業員の適切なマスク着用 (適切/どちらかといえば適切)	112 (100)	76 (100)	295 (100)
出勤時の健康観察 (している/どちらかといえばしている)	103 (92)	75 (99)	277 (94)
体調不良時に休んでいるか (している/どちらかといえばしている)	110 (98)	76 (100)	296 (100)
換気に注意しているか (している/どちらかといえばしている)	106 (95)	73 (96)	281 (95)
密に注意しているか (している/どちらかといえばしている)	105 (94)	74 (97)	280 (95)
店舗内の感染対応について			
客室清掃時に窓を開けている (している/どちらかといえばしている)	112 (100)	58 (76)	275 (93)
客室清掃時、消毒剤を用いている (している/どちらかといえばしている)	111 (99)	74 (97)	288 (97)
高頻度接触面を頻りに拭いている (している/どちらかといえばしている)	111 (99)	76 (100)	294 (99)
清掃時の消毒剤 *			
水拭き	7 (6)	2 (3)	24 (8)
アルコール消毒薬	93 (83)	68 (89)	261 (88)
次亜塩素酸水	46 (41)	39 (51)	104 (35)
次亜塩素酸ナトリウム	26 (23)	15 (20)	56 (19)
その他	10 (9)	3 (4)	10 (3)
設置している手指消毒薬 *			
アルコール消毒薬	101 (90)	73 (96)	285 (96)
次亜塩素酸水	17 (15)	19 (25)	58 (20)
その他	2 (2)	1 (1)	1 (0)
マニュアル			
マニュアルあり (無回答を除く割合)	88 (81)	75 (99)	239 (81)
種類 *			
COVID-19	87 (99)	73 (97)	231 (97)
ノロウイルス	36 (41)	57 (76)	118 (49)
食中毒	37 (42)	54 (72)	118 (49)
その他	0 (0)	0 (0)	4 (2)

・セル内は件数 (割合%)

・* 複数回答可

感染症が疑われる利用者に関するアンケート

1. 店舗の概要についてお伺いいたします。ご記入、または該当項目に○をお願いいたします。

都道府県名		市区町村名	
施設の従業員数	人	客室数	室
チェーン店舗数	1店舗 (チェーン店なし、貴店舗のみ) ・ 2~10 ・ 11~49 ・ 50以上		
宿泊者の平均滞在日数	泊 日		
平均宿泊人数 日~木曜日	人/日	平均宿泊人数 金~土曜日	人/日
大浴場	あり ・ なし	宴会場	あり ・ なし
施設内調理場	あり ・ なし		
食事提供 (レストラン等) 複数選択可	朝食 ・ 昼食 ・ 夕食 ・ その他 (軽食、夜食等) ・ 食事提供なし		

2. ご回答者様についてお伺いいたします。

ご回答者の役職	経営者 ・ 執行役員 ・ 店舗責任者 ・ 社員 ・ その他 ()
年齢	20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上

3. 以下の質問について、あてはまると思われる項目にチェック、自由記載等のご記入をお願いいたします。

質問 1-1. 現在、利用客の検温などの健康観察状況の確認を行っている。(1つ選択)

- 行っている →質問 2へ
- 行っていない →質問 3へ
- 以前行っていたが、やめた →質問 4へ

質問 2 質問 1で「行っている」場合のみお答えください。

どのような健康観察を実施していますか？ (複数回答可)

- ①入館時の検温
- ②チェック用紙への記入の依頼 (症状など)
- ③症状の聞き取り
- ④その他 ()

→質問 5へ

質問 3 質問 1で「行っていない」場合のみお答えください。

お客様の健康観察を実施していない理由は何ですか？ (複数回答可)

- 実施を求められていないため (通達などがない)
- 体温計などの器材が準備できない
- 必要性を感じていない
- その他 ()

→質問 5へ

質問 4-1 質問 1で「以前は行っていたが、やめた」方にお聞きします。

以前はどのような健康観察を実施していましたか？ (複数回答可)

- 入館時の検温
- チェック用紙への記入依頼
- 症状の聞き取り
- その他 _____

質問 4-2 中止した時期について記入してください。例： 2019年1月7日

西暦 年 月 日

質問 4-3 中止した理由を教えてください。

質問 5-1 過去5年間（2017年～2021年）に、貴施設を原因とした感染症の発生等でお客様から連絡を受けましたか？（1つ選択）

例：お客様が食中毒になったと連絡を受けた（黄色ブドウ球菌、サルモネラ、カンピロバクター等）、お客様がレジオネラ感染症で入院したと連絡を受けた、お客様から水虫になったと苦情をうけた

- あり
 なし → 質問 6 へ

質問 5-2 「あり」と回答された方にお聞きます。どのような連絡（苦情）でしたか？

質問 6-1 お客様の感染対策についてお聞きます。

	そう思う/ いつもしている	どちらかといえばそう思う /時々している	どちらかといえばそう思わ ない/あまりしていない	そう思わない/ していない
実際、お客様ご自身のマスク着 用状況は適切と思われますか？ （1つだけ選択）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
お客様のアルコール手指消毒の 実施は適切と思われますか？ （1つだけ選択）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

質問 6-2 感染症が疑われる、または感染症のお客様への対応で、困った事がありましたか？（1つ選択）

- あり
 なし → 質問 7 へ

質問 6-3 感染症が疑われる、または感染症のお客様への対応で、困ったことがある方にお聞きます。
どのような状況でしたか？

例：激しい咳をしていた。
大浴場の利用時に身体に発疹（ブツツ）があった。

質問 6-4 上記のお客様の利用を断りましたか？（1人でも断っていた場合は“はい”をお願いいたします。）

- あり
 なし → 質問 7 へ

質問 6-5 お客様の利用を断った方にお聞きます。断った具体的な理由を教えてください。

質問 6-6 その際お客様とトラブルになりましたか？（1つ選択）

- はい
 いいえ → 質問 7 へ

質問 6-7 トラブルになった方にお聞きます。差し支えなければトラブルの内容を教えてください。

質問 7-1 新型コロナウイルス感染症対策についてお聞きします。貴施設では、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施しましたか？(1つだけ回答)

- はい
- いいえ

質問 7-2 従業員の手指消毒の頻度は概ねどのくらいですか？（接客時）

- お客様ごと
- 約1時間ごと
- 約3時間ごと
- していない

質問 7-3 従業員の感染対策についてお聞きします

(1つだけ選択)	そう思う/ いつもしている	どちらかといえばそう思う /時々している	どちらかといえばそう思わ ない/あまりしていない	そう思わない/ していない
①従業員は接客時マスクをいつも正しく着用していますか？ (鼻を出さない、顎にかけない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②従業員のマスクが不適切な着用の場合、お互い注意や声かけしていますか？（接客時）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③出勤時や出勤前に必ず検温及び体調確認をし、記録していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④出勤前や勤務中に体調が良くない従業員は積極的に休んでいますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤従業員のロッカールームや控え室の換気について気を付けていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥従業員のロッカールームや控え室は、使用時に密（体が触れぐらいの距離）にならないように気を付けていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

質問 7-4 施設内の環境整備について

(1つだけ選択)	そう思う/ いつもしている	どちらかといえばそう思う /時々している	どちらかといえばそう思わ ない/あまりしていない	そう思わない/ していない
①館内は、構造上換気がよい (風のとおりがよい) ですか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②客室清掃時、窓を開けていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③客室清掃時、消毒剤を用いていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④よく触れる場所・器具等（ドアノブ、エレベーターのボタン等）を定期的に消毒していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

質問 7-5 客室清掃・消毒をする際、次のどれを使用していますか？（複数回答可）

- 水のみ
- アルコール（エタノール）製剤
- 次亜塩素酸水
- 次亜塩素酸ナトリウム（ハイターなど）
- その他： _____

質問 7-6 館内に手指消毒の薬剤を設定していますか？（1つ選択）

- はい → 質問 7-7へ
- いいえ → 質問 7-8 からご回答ください

質問 7-7 「はい」の場合、消毒剤は次のどれを設置していますか（複数回答可）

- アルコール（エタノール）製剤
- 次亜塩素酸水
- その他： _____

質問 7-8 食堂やレストランにおける感染対策についてお伺いします。

食堂やレストランで、現在実施している対策（お客様にお願いしていることも含む）を教えてください。（複数回答可）

- お客様の飲食中以外のマスク着用
- お客様の利用前の検温
- 小鉢ごとのサランラップ包装
- 人数制限
- 時間制限
- 1テーブルの座席制限
- 座席のパーティション
- 手指消毒剤の設置
- 退席後のテーブル等の消毒
- 積極的な換気
- CO2モニターの設置
- 上記に該当項目なし
- 食堂やレストランがない
- その他： _____

質問 7-9 食事の提供方法を教えてください。（1つだけ回答）

- ビュッフェ式 → 質問 7-10 からご回答ください
- 配膳式 → 質問 7-11 からご回答ください
- 両方（配膳式とビュッフェ式） → 質問 7-10 からご回答ください
- 食堂やレストランがない → 質問 7-11 からご回答ください
- その他： _____

質問 7-10 食事提供方法がビュッフェ式の方にお聞きします。ビュッフェ式の対策について教えてください。（複数回答可）

- ビュッフェ料理を取る時の手袋着用（お客様）
- ビュッフェや食事提供台を覆うビニールカバー
- 小鉢ごとのサランラップ包装
- その他： _____

質問 7-11 2021年6月以降、貴施設で新型コロナウイルス感染症の集団感染（2週間以内に3人以上）を何回経験されましたか？

	1回	2回	3回以上	なし	わからない
①お客様同士の感染 （従業員への明らかな感染は なかった）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②従業員同士の感染（お客様への 明らかな感染はなかった）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③お客様及び従業員の感染	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

質問 8-1 貴施設で感染症が発生した場合、事業者は従業員と情報共有していますか？（複数回答可）

- お客様における感染症発生時にしている
- 従業員における感染症発生時にしている
- お客様でも従業員でも、感染症発生時にはしている
- 情報共有はしていない

質問 8-2 感染症の拡大を防ぐためのマニュアルはありますか？（1つだけ回答）

- あり → 質問 8-3 へ
- なし → 質問 8-4 へ

質問 8-3 「あり」と回答された方にお聞きします。どのような手順書やマニュアルですか？（複数選択可）

- 新型コロナウイルス感染症マニュアル
- ノロウイルス用マニュアル
- 食中毒用マニュアル
- その他 _____

質問 8-4 その他、ご意見や感想があれば、ご記入をお願いします。

（現在のご施設での対策の課題や今後、法改正されるに当たり取り組みに関するご意見など）

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

なお、この情報は厳重に保管し、今後の参考にする以外の目的には使用いたしません。